

広報大洲

きらめき創造 大洲市
—みとめあい ささえあう 肱川流域都市—

2017
No.144

1

大洲



受け継がれる冬の味
～伝統保存食「焼き干しアユ」～

がんばる大洲っ子

今月の題字作成者

大洲東中学校 2 年（現：大洲東中学校 3 年）

石 岡 梨 花 さん



私の通う中学校の中庭は、いつもきれいな花が咲いていて私の大好きな場所です。生徒が水やりを担当していますが、世話をしないと花も元気がなくなりま
す。きれいに咲いてほしくて、みんなで世話をしています。

私は、部活動を引退するまでバレー部に所属し、毎日練習に励んでいました。練習着に「苦しい、もう止まっていたい、そう思った瞬間からの一歩」という言葉が書かれていて、その言葉を見ながら汗を流しました。そして今も、その言葉を思い出して受験勉強を頑張っています。

私は小さいときから人見知りで、いつも姉の後ろに隠れていました。それを克服したくて、自分から積極的に話しかけてコミュニケーション力アップを心がけています。そして、高校でも新しい友達をたくさんつくって楽しい高校生活を送りたいと思っています。

1 月の納税など

納期限は 1 月 31 日(火)です。

税 別	1 月	2 月	3 月	4 月
市 県 民 税		5 期		
固 定 資 産 税	5 期			1 期
軽 自 動 車 税				
国 民 健 康 保 険 税	7 期	8 期	9 期	

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を。

現在の大洲

人の動き(先月比)

人口 44,915人 (－ 36)
男 21,462人 (－ 11)
女 23,453人 (－ 25)
世帯数 20,168世帯 (2)

交通事故(去年同期)

件数 136件 (164 件)
死者 2人 (2 人)
負傷者 174人 (216 人)

(2016年11月末現在)

CONTENTS 目次

2 ページ	がんばる大洲っ子・今月の表紙
3 ページ～	(特集)運気をトリ込んでよい年に
6 ページ～	新年のごあいさつ
8 ページ～	おおずニュース
13 ページ～	シリーズ
16 ページ～	おしらせ
25 ページ～	図書館・保健センター・ 心と体の健康ガイド
28 ページ	がんばるひと (大和イルミネーション愛光会)

今月の表紙



冬に入り、焼き干しアユ作りの最盛期を迎えた11月30日(水)、この道40年以上の上満武さん(柴)の作業場取材しました。

藩政時代には江戸に献上されたという焼き干しアユ。炭火でじっくりあぶり、約2週間乾燥させて黄金色に輝いたアユは、雑煮などのだしに最適だということです。

(特集) 運気をトリ込んでよい年に



雲海展望公園（藤縄）から望む朝日

酉（とり）年生まれの大洲市民を紹介します

平成28年11月30日現在、酉年生まれの大洲市民は3,356人となっています。
今月号では、平成29年が年男と年女になる小学生2人とその家族を紹介します。

酉年生まれの大洲市民

生まれ年	平成29年 での年齢	人数
明治42年（1909）	108歳	1人
大正10年（1921）	96歳	87人
昭和8年（1933）	84歳	547人
昭和20年（1945）	72歳	475人
昭和32年（1957）	60歳	663人
昭和44年（1969）	48歳	492人
昭和56年（1981）	36歳	452人
平成5年（1993）	24歳	290人
平成17年（2005）	12歳	349人

酉年生まれ合計 3,356人
（平成28年11月30日現在）

酉年あれこれ

平成29年は酉年です。酉の本来の読みは「ゆう」で、もともとは酒つぼを意味し、収穫した作物から酒を作るという行為に由来したという説があります。また、作物が収穫できる状態を表しているともいわれています。

干支（えと）には、さまざまな縁起話があり「とり」は「とりこむ」の意味を含み、商売などで縁起が良いとされています。今年は運氣や情報を素早く取り入れ成果を得ることで、実りある1年になるのではないのでしょうか。

紹介します

れの市民～

新大洲市誕生の日に生まれました

今年12歳になる清水椋介さんは、新大洲市が誕生した平成17年1月11日に生まれました。

しつかり者で面倒見のよい椋介さんは、小学3年生のときから大洲リトルジャイアンツスポーツ少年団に所属し、ソフトボールを頑張ってきました。スポーツ少年団の公式戦が終わり、中学校では軟式野球を始めるため、土日に練習しています。

夫婦共働きで忙しくても、月に一度は時間をつくり家族そろって遊びに行くようにしているそうです。エミフルMASAKIなどで買い物や食事をして過ごすことが多く、「大洲にも家族で一日中遊べる施設ができたらうれしい」と、家族みんなが話していました。

母の美千子さんに椋介さんが生まれたときのことを尋ねると、「生まれるときに心音が弱くなりとても心配した。へその緒が首に巻きついていて、泣き声が聞こえたくきは本当に安心した」と話し、元気に育ってくれていることが、とてもうれしそうでした。



後列 父・^{のりひと}謙士さん 母・^{みちこ}美千子さん
前列 ^{りょうすけ}椋介さん 妹・^{りな}里衣さん

小学校から高等学校まで野球をしていたという父の謙士さんは、椋介さんと同じ1月11日が誕生日です。椋介さんの野球好きは、誕生日が同じ謙士さんの血を受け継いでいるのかもしれませんが。
取材中、「大洲にもバッテリーセンターがあったらいいな」と繰り返し話していた椋介さんですが、「中学生になったら友達と自転車で釣りに行きたい」と野球以外のやりたいことも語ってくれました。



父・謙士さんとユニフォーム姿で

振り返って

イベントが開催されました。そのなそれぞれの家族に挙げていただき



【清水さん家族の思い出】

「大洲まつり（おまつり村）」

11月3日(木)に緑地公園で開催された「おまつり村」。母・美千子さんは仕事だったので、父・謙士さんと子どもたちでおまつり村に行き、それぞれ楽しく過ごしたそうです。

年 男 と 年 女

～ 酉 年 生 ま

何ごとにも一生懸命に取り組みます

今年12歳になる岡本小都美さんは、スポーツが得意な小学5年生です。

5歳から始めた剣道は、兄の國宏さんと妹の千春さんと一緒に父の忠國さんから指導を受けています。週に2日の練習のほか、土日は市内外で開催される試合にも出場しています。11月は音楽会の練習と重なり、忙しい毎日だったそうです。

明るく活発で友達が多い小都美さんは、スポーツだけでなく絵を描くのも得意です。本を読んだ感想を絵で表現する読書感想画コンクールで優秀賞をもらったこともあり、「これからも好きな絵をたくさん描きたい」と話してくれました。

家はイチゴ農家です。イチゴの収穫は12月から始まりますが、夏には苗を育てる作業があり、忙しい時期にはよく手伝うそうです。小都美さんは、「将来はイチゴを栽培する仕事に就いて、自分で作ったおいしいイチゴを食べてみたい」と夢を語ってくれました。



後列 父・忠國さん 母・英子さん 祖母・富子さん
前列 妹・千春さん 小都美さん 兄・國宏さん

母の英子さんは、しっかり者で生まれたときから手のかからない小都美さんをとて頼りにしているようです。「これからも、明るく元気に自分のやりたいことは何でもチャレンジしてほしい」と話していました。

勉強や遊び、そして習い事など毎日とても忙しい小都美さんを、祖母の富子さんは少し心配な様子でしたが、取材中も笑顔を絶やさず質問に答える姿を見て、安心したようでした。



力強く竹刀を振る小都美さん

2016年を

昨年も大洲市ではたくさんのイ
かで思い出に残ったイベントを、
しました。

【岡本さん家族の思い出】

「大川鯉のぼり祭」

5月3日(火)に大川で開催された「大川鯉のぼり祭」。たくさんの鯉のぼりが気持ちよさそうに泳いでいるのを見ながら、家族みんなで楽しい休日をお過ごしたそうです。



あ い さ つ

大洲市の魅力を全国へ

あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、旧年中は、市政の各分野にわたり、格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

えひめいやしの南予博の効果

昨年は、「えひめいやしの南予博2016」として市内でも数多くのイベントが開催されるなか、7月に臥龍山荘が国の重要文化財に指定されるという嬉しいニュースもあり、多くの観光客の皆様に来ていただくことができました。

特に「おおず歴史華回廊」と題したまち歩きツアーは、旅行会社からも新しい観光スタイルとして評価され、また、市民の皆様により実施された南予いやし体験プログラムも好評をいただくなど、観光客を受け入れる側の基盤整備においても大きな効果があったものと考えています。このような南予博の成果を継承し、今後も「観光ブランド」として定着できるように取り組みを進めてまいりたいと考えています。

えひめ国体の開催

今年は、いよいよ「第72回国民体育大会愛媛県つなぐえひめ国体」と「第17回全国障害者スポーツ大会愛媛県つなぐえひめ大会」が開催されます。

大洲市では、ソフトテニス（成年男女）、ソフトボール（成年男子）、カヌースプリント（全種別）、バスケットボール（知）の競技が実施されます。全国から大洲市に訪れる選手をはじめとした多くの皆様に、この地域の魅力を感じていただくよう、市民の皆様と一体となっておもてなしをしていくことが大切になってまいります。大洲市の魅力を全国に発信し、交流を深めていく絶好の機会になりますので、大会へご協力いただくとともに、是非ともご観戦いただき、選手の皆様さんへ温かいご声援をお願い申し上げます。

社会資本整備の充実

大洲市は、肱川などの地形的特性や台風常襲地帯に位置していることから、毎年のように発生する自然災害に対する防災力の強化が喫緊の課題となっている地域ですが、対応できる社会資本整備が十分に進んでいるとは言えない状況にあります。治水事業や道

路整備など地域経済を支える基本となるインフラ整備が十分でなければ、全国一斉に「地方創生」を進めるなかにおいても、同じスタートラインに立てないのではないかと思います。その中で4車線化の要望をしていました松山自動車道（松山IC→大洲IC）について、昨年6月に国土交通省から付加車線設置の検証路線として選定をいただきました。南海トラフ地震などの大規模災害や緊急時に搬送・避難道路となる幹線道路の整備や市民の生命・財産を守る肱川流域の治水対策を促進し、市民の皆様様の安心・安全と地域経済活動を守っていくため、引き続き社会資本整備の充実強化に取り組んでまいります。

うかい60周年など

昭和32年からはじまった肱川の観光うかいは、今年で60年目を迎えます。6月には、全国からうかい関係者が大洲に集まり「第22回全国鵜飼サミット」を開催します。

このほかにも、2017年は、1617年に加藤家が大洲藩に入り中江藤樹先生が大洲に来られてから400年、金山出石寺は、開山1300

大洲市長

清水

ひろし
裕



新年のご

年を迎えます。

様々な分野で大きな節目を迎えるなか、大洲市の歴史や文化を見つめ直し、その魅力を多くの方に知っていただきたいと思っています。特に若い皆さんが、この地域のすば

らしさを継承しながら、新たな夢や希望を持ち、そして将来に向かって地域と共にチャレンジして、定住していけるようなまちづくりを進めてまいりたいと考えていますので、市民の皆様の一層のご支援と

ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
今年一年が市民の皆様にとりまして幸多い一年となりますよう心から祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

市民福祉の向上を目指し

あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、輝かしい新春を健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

様をはじめ、多くの方にぜひ足をお運びいただき、更なる交流人口の増加に繋がっていくことを期待するものであります。

さて、昨年7月に、肱川流域随一の景勝地である臥龍の淵に臨む「臥龍山荘」の建築物3棟が国の重要文化財に指定されました。これは、平成26年12月に重要文化財に指定された現役最古の道路可動橋である「長浜大橋」に続くものでありまして、先人の残した優れた遺産がこのように評価されることは大変喜ばしく、これからも保存、継承に努めなければならないと改めて考えるところでございます。

また、大洲市内には国指定をはじめとした指定文化財が229件ありますが、そのうちの約4割を天然記念物が占めており、自然豊かな大洲市の特徴を表しています。これらの豊かな自然や歴史、文化を有効に活用して、市民の皆

現在、日本は人口減少社会に入ったと言われておりますが、本市におきましても、少子高齢化や急速な人口減少、過疎化の問題を抱えております。また、肱川の治水対策をはじめとする防災・減災対策、さらには、産業の振興、中山間地域や中心市街地の活性化など、まだまだ克服すべき行政課題が山積しております。

私たち市議会は、二元代表制の一翼を担っており、市長と常に緊張感のある関係を保ちながら、これらの課題に対して、地域の実情を細かく捉え提言し、そして政策に反映させることにより、市民福祉の向上や市政の発展に寄与していかなければなりません。そのため、当市議会において、議会及び議員の立場や役

割、市民との関係、市長との関係等を明確にするとともに、議会機能の充実強化と活性化、そして開かれた議会、信頼される議会を目指し、昨年9月に議会基本条例を制定いたしました。

また、自らの組織及び運営方法についても不断の見直しを行うとともに、次回の市議会議員選挙から定数を1名減らすことを決定したところでございます。

今後におきましても、様々な課題の解決に向け、市民の皆様の声を十分にお聴きし、議員自ら自己研鑽に努め、市議会の改革・活性化に引き続き取り組んでまいりたいと考えておりますので、なお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が活力にあふれ、笑顔で暮らせる素晴らしい年になりますよう心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

大洲市議会議長

お 男 福 積 章

